



宮川通信の  
バックナンバー  
閲覧できます

# 宮川通信 Vol.56

## MIYAGAWA TSUSHIN 2024.2

勢田川の掘削工事に  
密着取材  
水陸両用バックホウを用いた工事方法とは



- ◆ 第3回工事現場取材
- ◆ 第3回建設業界で働く
- ◆ 出張所管内の工事実施箇所
- ◆ ミナテラスキャンプ
- ◆ もったいないフェア

SNS発信中



三重河川国道事務所  
公式X (旧Twitter)

フォローしてね



Follow me

[https://twitter.com/mlit\\_mie](https://twitter.com/mlit_mie)

# 第3回 工事現場取材

工事現場の気になる疑問を  
密着取材しました！

今号では、勢田川の掘削工事を実施している(株)森組様を取材しました。

## 工事の概要

- 工事名** ▶ 令和4年度 勢田川・桜尻川河川整備工事
- 工事目的** ▶ 洪水被害を防ぐため。
- 工事方法** ▶ 水陸両用バックホウを用いて、河川内の土砂を掘削・撤去します。
- 工事場所** ▶ 伊勢市岩淵～吹上町
- 工事期間** ▶ 令和5年10月23日～令和6年2月29日 (勢田川上流工区)



工事現場での取材について、本工事の現場代理人である城者 一隆 (じょうしゃ かずたか)氏 (左写真) にご協力いただきました。

現場での報・連・相を大切に、安全第一で作業しています。

## Q 水陸両用機械 (バックホウ&クローラーダンプ) の利点は？

### A. 作業の大幅な効率化。

当地区は潮位の影響があるため、通常のバックホウ (掘削機械) では機械が浸水する時間帯には作業できません。一方、水陸両用バックホウは、機体と足周りの間にコラム装置 (と呼ばれる嵩上げ部分) を設けて、地面から機体までの距離を約50cm嵩上げしています。最大1.5mの水深まで機体が浸水せず作業を行えるため、作業時間を多く確保できます。

また、掘削した直後の土砂は水分を多く含んでいるため、搬出時に備えて乾燥させる必要があります。普通の機械であれば、護岸の上で乾燥させ、堤防脇道路を長時間全面通行止めにし、順次ダンプトラックへ積み込み搬出するしかありませんが、水陸両用クローラーダンプであれば、河川内で掘削土の運搬が行えるので、掘削土を護岸の1カ所に集めて乾燥とダンプトラックへの積み込み搬出が行えます。



水陸両用バックホウ (作業可能な最大水深1.5m)



水陸両用クローラーダンプ (作業可能な最大水深1.4m)

## Q 水陸両用機械を扱う上で気を付けている事は？

### A. 機械の転倒防止&浸水防止。

水陸両用機械は、地面と機体の距離が離れている分、重心が高くなり、転倒する危険性が増します。転倒事故を防止するには安定した地盤が必要となるため、工事前に、機械を開発した青木あすなる建設 (株) の小笠原氏 (右写真) により、河床の地盤調査を実施しました。工事範囲内を各地点に分けて、検土杖 (けんどじょう：河床へ差し込み地盤の硬度を計測する道具 (右写真)) を用いて土層を検査し、支持力 (しじりょく：荷重を支える力) を確認したところ、安定した地盤である事を確認しました。

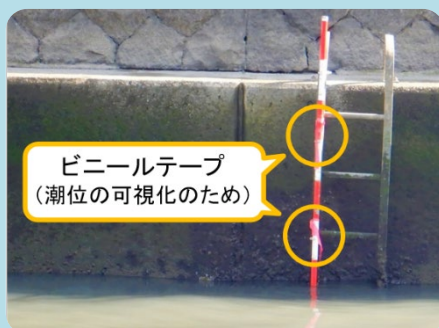
工事方法については、工事範囲の片側を走路として活用し、段階的に掘削を行うため、1回目の掘削範囲と走路に段差が生じます。段差で転倒する事

全長3mの検土杖を河床へ差し込んだところ、約30~40cm程で止まったため、硬度のある地盤だと確認できました。先端にも粘土状の土の付着はありませんでした。



青木あすなる建設 (株) 小笠原 司 氏

←使用した 検土杖



がないよう、目印として各地点に鉄杭を設置しました (左写真)。

また、工事中に潮位が上がり、機体の浸水及び操縦士が河川内に取り残される危険を防ぐため、工事中でも潮位が可視化されるよう、目印 (ビニールテープ) を付けたポールを設置しました (左写真)。テープが2つ巻かれているのは、水面に近いテープが水面に浮かんで確認しづらくなった場合に備えています。

# 第3回 建設業界で働く

(株)森組のみなさま、  
ご協力いただきありがとうございました。

一般に「建設業界」と聞くと、以前は3K（きつい、汚い、危険）といわれていましたが、現在は新3K（給与の確保）、休暇（が取りやすい）、希望（が持てる）の実現に向けて多くの事業所が「働き方改革」を行うことで職場環境の改善に取り組み、若手技術者が働きやすい職場となりつつあります。今号では、(株)森組で働く入社1年目の若手社員と女性社員の2名の方へ「建設業界で働くこと」をテーマに取材しました。



プライベートも大切に。

工務部 工務課

かたやま けいた  
**片山 敬汰 氏**

### 「建設業界に入って」

私は「雇用条件が良い」という理由から、普通科高校を卒業して建設業界へ入りました。専門知識がなかったのが、最初は戸惑う事もありましたが、周りの先輩方から暖かくご指導いただきました。

時間外労働も少なく、周りの方も遅くまで残っている印象はありません。おかげで、プライベートな時間も大切に過ごせます。

### 「仕事のやりがい」

道路や橋などが出来ていく様子を間近で見たり、工事に向けての書類手続きを学んだり、様々な知識を吸収する事にやりがいを感じます。今後もどのような現場に携われるのか楽しみです。



会社から応援されている。

工務部 工務課

なかむら ともみ  
**中村 友美 氏**

### 「建設業界に入って」

私は元々アパレル業界に勤めていましたが、森組に勤めていた友人の話を聞いて転職を決めました。女性が少ない業界への転職でしたが、周りの方は「これは大丈夫?」「女性目線ではどう思う?」と私（女性）の意見も確認して、気にかけていただいたので、働きづらさはありませんでした。休暇もしっかり取得できるので、仕事とメリハリがつけます。

### 「仕事のやりがい」

会社から応援されていると実感するときです。先日、会社の勤めでドローンの操縦資格を取得しました。今後はより専門的な業務に従事できるよう頑張りたいです。

取材日：令和5年12月

## 宮川出張所管内の工事実施箇所

### ⑦工事予告

台風7号により漂着した流木・ゴミを撤去します。



伊勢市榎原町地内



①は管理区間全域です

- |    |  |
|----|--|
| ①  | 令和5年度 宮川堤防維持管理修繕工事<br>施工者：海老屋・西山経常建設共同企業体            |
| ②  | 令和4年度 勢田川・榎原川河川整備工事<br>施工者：(株)森組                     |
| ③  | 令和5年度 宮川中流部堤防整備工事<br>施工者：朝日丸建設(株)                    |
| ④  | 令和5年度 三重管内機械設備整備工事<br>施工者：アクアドック(株)                  |
| ⑤  | 令和5年度 勢田川河道掘削工事<br>施工者：朝日丸建設(株)                      |
| ⑥  | 令和5年度 大湊川耐震補強工事<br>施工者：(株)山野建設                       |
| ⑦  | 令和5年度 宮川管内災害復旧工事<br>施工者：(株)山野建設                      |
| 予定 | 令和5年度 宮川災害復旧工事(仮称)<br>施工者：未定<br>工事内容：宮川左岸の流木等を撤去します。 |

# 11/12 ミナテラスキャンプ2023



開催場所：たまき水辺の楽校（玉城町昼田）

「ミナテラスキャンプ2023」が秋晴れの中で開催されました。当地区で2回目の開催となりましたが、音楽ステージでのライブ、近隣市町の多くの飲食店の方の出店及びデイキャンプが行われ、約3000の方がご来場されました。イベントの詳細は下記のQRコードからご覧ください。



facebook

@minaterracecamp



Instagram

@minaterrace\_camp



玉城町かわまちづくり協議会(主催)

当日会場で配布しましたアンケートの  
集計結果もご覧いただけます。

11/18

## もったいないフェア

開催場所：伊勢リサイクルプラザ

伊勢広域環境組合リサイクルプラザ主催の「もったいないフェア」が4年ぶりに開催されました。資源の再利用を促すことをテーマとしたイベントであり、宮川出張所からは、刈草堆肥200袋の無料配布を行いました。堤防除草により発生した刈草を処理コスト縮減のために堆肥化したもので、「家庭菜園で活用したい」と多くの方にご好評をいただきました。

刈草堆肥とは



三重河川国道事務所Xでは、イベント等の告知も発信しています▶



### お問い合わせ先とご案内

次回 57号 (8月)

〒516-0008  
伊勢市船江1丁目11番25号

国土交通省中部地方整備局  
三重河川国道事務所  
宮川出張所

TEL : 0596-25-1018  
FAX : 0596-27-6743

三重河川国道事務所HP  
<https://www.cbr.mlit.go.jp/mie/>

川の防災情報 (川の水位や雨の情報)  
<https://www.river.go.jp/>

河川ライブカメラ映像  
<https://www.cbr.mlit.go.jp/mie/live/river.php>

